

平成 28 年 1 月 22 日

1 年次保護者様

県立小田原高等学校
校長 大 嶽 真 康

野外活動(スキー)について

厳寒の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素より本校の教育活動にご理解ご支援を賜り御礼申し上げます。

さて、本校の保健体育の選択科目である野外活動(スキー)が、志賀高原において 1 月 3 日(日)より 1 月 6 日(水)までの 3 泊 4 日の日程で行われました。207 名の生徒の参加で終了いたしました。帰宅後に多くの生徒に体調不良が生じ、1 月 8 日(金)の授業開始日にはスキー参加者から 50 名の欠席者が出てしまいました。一部の生徒からは病院でウイルス性の胃腸炎といわれたとの連絡があり、校内での感染の可能性を考え急遽 1 年次生全員を帰宅させることといたしました。また、県教育局と小田原保健所へ報告を行い、欠席した生徒の健康状態の把握と検査等の対応を行いました。小田原保健所では抽出調査で生徒から聞き取りや検便を行うとともに、長野県の北信保健所は宿泊先施設の調査を行いました。

その結果、検便調査を行った生徒のうち数名からノロウイルスが検出されました。検出された生徒には保健所から直接連絡を入れています。ノロウイルスの感染による発症では、嘔吐や下痢等の特徴的な症状が出ないこともあるようで、学校では生徒に手洗いの励行を指示するとともに体調不良があった場合は、できるだけ早く病院等での診察を受けるよう呼びかけました。

1 月 12 日(火)の放課後、1 年次生全員を集め、今回の件について説明を行いました。さらに、スキー参加者全員に対して現地での食事内容や健康状態に関する調査を行い、調査結果は小田原保健所を通じて北信保健所へ送られました。

1 月 20 日(水)に小田原保健所より今回の体調不良に関する連絡がありました。内容は「宿泊先の食事を起因とする食中毒という結論には至らなかった」というものでした。本校としても小田原保健所の出した結論を尊重して、今回の事案を受け止めております。

発症した生徒もほとんどが 1 月 12 日から登校していますが、今後も手洗い励行の呼びかけと健康状態の把握に努めてまいります。多くの生徒、保護者の皆様にはご迷惑ご心配をおかけしてしまい申し訳ありませんでした。お気づきのことがございましたら問い合わせ先までお願いいたします。

問い合わせ先
副校長 伊藤 敬
教頭 鈴木秀幸
電話 0465-23-1202